

発行所
 八尾市消防団
 発行責任者
 八尾市消防団長
 小角 道男
 八尾市高美町5-3-4
 TEL(072)992-0119
 FAX(072)992-7722
 H24-75



大阪府消防操法大会

平成24年9月9日(日) 残暑厳しい中、大阪府立消防学校において、第56回大阪府消防操法大会が開催され、八尾市消防団として、初めて、北西方面隊で一つの隊を組み、ポンプ車操法に出場しました。

大阪府下の精鋭された選手達の中、優勝こそ逃しましたが、今までの訓練成果を遺憾なく発揮し、素晴らしい操法を披露する事ができました。

一つの分団で隊を編成するのは違い、北西方面隊(久宝寺、西郡、八尾、龍華)の4分団から選ばれた選手が一つとなり長い訓練期間中、思いが違うことも多々ありましたが、目標は一つ、操法を見事に完成させ大会に臨みました。

訓練は4月から9月の大会直前まで、消防本部警防課の情熱ある指導をいただき、選手たちも自主訓練、ビデオによる各個動作の確認、操法のチェック等日々遅くまで訓練を続けましたが、終わってみれば、あつと言う間の5ヶ月でした。

訓練中には消防団長はじめ、団

幹部、各分団の皆様の心温まる激励に北西方面隊一同感謝しております。

この操法訓練で、何より北西方面隊の4分団の絆がより一層強く結ばれた事が、今後の消防団活動において大きな収穫となりました。最後に、訓練期間中の怪我で選手交代となつてしまい、今回の大会に出場できなかった隊員の方につきましては、訓練で身に付けた事を、今後、後輩達に受け継いでいく事に意義があると思います。選手の皆様、暑い中の操法訓練、大変ご苦労様でした。

龍華分団 辻村 良弘
 岡田 真一





任命式

平成24年3月30日(金)消防団員の任命式が挙行され、8名の新団員が誕生しました。新団員の抱負を伺いました。

氏名(所属)

①職業

②趣味

③消防団員としての抱負



西郡分団 中川 翔太

① 会社員

② 音楽

③ 地域の活性に役立てていけるように頑張っていきたいと思っています。



大正分団 佐々木一智

① 金属加工販売

② 野球

③ 地域のお役に立てるように、頑張っていきたいと思っています。



高安分団 齊藤 忠宏

① 会社員

② 釣り

③ 地域に貢献できるように頑張ります。



龍華分団 西田 寿

① 会社員

② 剣道・ソフトボール

③ 消防団員として、自分が生まれ育った地域を守るべく頑張っていきたいと思っています。「ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために」

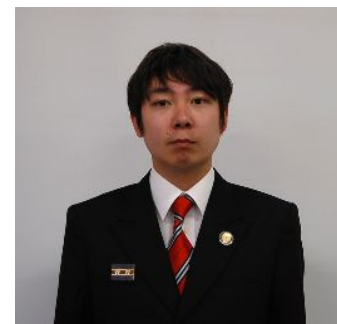


大正分団 山内 聡

① 会社員

② 読書

③ 地域に少しでも貢献できるように頑張ります。



高安分団 加納 英治

① 会社員

② ランニング

③ 消防団員として地域の役に立てるよう、先輩方を見習って頑張ります。よろしくお願ひします。



志紀分団 東田 将志

① 飲食業（料理人）

② 映画鑑賞

③ 消防団員になった自覚を持ち地域の皆様に安心して生活してもらえよう活動に取り組み早く一人前になるよう努めていきます。



志紀分団 山倉 有策

① 車体整備業

② 車

③ 消防団員になったことに対する意識を常に持ち、地域社会に貢献できるように頑張っています。

消防団員基礎（初任）教育訓練

平成24年6月3日（日）大阪府立消防学校において、基礎（初任）教育訓練が行われましたので、広報部員として取材に行きました。大濱支部長の「初任団員は、一日も早く消防に関する基礎的な知識と技術を修得し地域住民の安全確保に務めてほしい」という力強い訓示で訓練が始まりました。



はじめに、初任団員は研修室において消防団組織やその歴史、事故防止等の基礎知識を学び、その

後訓練礼式（規律訓練）や放水訓練、資機材取扱いの実技等を午前9時から午後4時にかけて、教わっていました。

今回、高安分団から2名の新団員が参加しましたが、その二人の成長は目を見張るものがあり、中でも6月9日（土）に行われた高安分団定例会でのポンプ点検ではホース結合時の確認を積極的に且つ堂々と自信に満ちて取り組む姿勢には感服しました。

先輩団員たちもまた新団員の基礎訓練の成果を実感し、新しい仲間とともにこれからも初心を忘れず消防団活動を務めていこうと気持ちを新たにしました。

高安分団 五枝 伸浩
錦織 栄夫

消防団員初級幹部科教育訓練

平成24年6月3日（日）大阪府立消防学校において、平成24年度基礎（初任）教育訓練と初級幹部科教育訓練が合同で行われました。私は初級幹部科教育訓練を受講しました。

午前中は、消防活動での安全管理の講義を受けました。その中で心に残っているのが、A、B、Cです。

A（あたりまえ）のことを
B（ぼんやりせず）に
C（ちゃんとする）でした。

本当にあたりまえのことかもしれないけれど大事なことだと思いました。

その後、グラウンドにおいて本結び、もやい結び、巻き結び等のロープ結索や、人命救助をする時の一人での搬送方法や、二人で協力して搬送する方法、応急担架での搬送等を教わりました。

どれもいざという時に役に立つことばかりだと思いました。昼食後、部隊指揮、訓練礼式を教わりました。

部隊指揮では、小隊に号令をかけるという初めての経験で、とても緊張しました。

この訓練で学び経験したことを無駄にせず、自身の今後の消防団活動に役立たせたいと思います。

龍華分団 廣岡 勝



恩智川水防訓練

平成24年4月28日(土) 東大
阪市花園中央公園多目的広場にお
いて、恩智川水防訓練が実施され
ました。

今回は、阪本方面隊長が訓練指
揮者を務め、南西方面隊から小西
分団長以下19名の工法実施団員
が「釜段工」を実施しました。

この工法は、川と釜段工に貯え
られた水の圧力を均衡に保つこと
により、被害の拡大を防ぎます。

川の圧力以上に釜段工の水圧
を大きくすると、水は川へ逆流し、
この時堤防を大きく削り取る恐れ
がありますので注意が必要です。

訓練前の訓示の中で、恩智川及
び淀川は大阪湾の潮位の影響を受
ける恐れが大いにあり、昨今の記
録的な都市型集中豪雨や、梅雨や
台風等の豪雨での洪水による水災
を防御し被害を軽減するための訓
練であると説明を受けましたので
団員は汗だくになりながら真剣に
訓練に取り組みました。

八尾市消防団も水防組織の一員
となり、地域防災のリーダーとし
て水防活動もするのだと改めて認
識した団員も多くいました。

工法終了後、完成した工法をこ
来賓の方々に見ていただき閉会式
では、訓練統監の小畑団長のお言
葉をいただき訓練は無事終了しま
した。

余談ですが、工法の効果をあげ
るには、土のう袋には六分目(約
30kg)土を入れて余裕を持たせて
大きさを揃えることが大切だそう
です。

志紀分団 井形 肇



久宝寺寺内町燈路まつり

平成24年9月2日(日) 久宝寺
において久宝寺寺内町第4回燈路
まつり(とうろ)まつりが行われました。

今回初めて久宝寺緑地で八尾
河内音頭まつりと同時開催とい
うこともあり、市内はもとより市外
からもたくさんのお見物人が訪れ
ました。

午後6時15分に点灯式があり、
町並みに灯される1700個の燈籠に
は地元の幼稚園、小学校の子ども
達のそれぞれの思いや絵などが描
かれておりました。



久宝寺分団は、八尾市まちなみ
センターを中心に東西2筋とその
周辺道路を2組のペアで3ヶ所に
分かれ路上交通整理を行いました。
約450年の歴史がそのまま残っ

ている久宝寺「安心・安全の町は、
自分たちで作っていく」という気
持ちでこれからも消防団活動に取
り組んでいきたいと思われました。

久宝寺分団 高田 卓

消防団幹部教育訓練 (消防団員訓練指導者として)

平成24年6月3日(日)に大阪
府立消防学校において、消防団員
基礎(初任)教育訓練及び消防団
員初級幹部科教育訓練が実施され
ました。

南高安分団から昨年消防団員初
級幹部科教育訓練を修了し、平成
24年4月22日に消防団員訓練指
導者研修課程を修了した2名(西
山班長、亀田班長)が指導者とし
て参加しました。

訓練礼式に始まり、放水訓練と
器具の取扱いに至るまで教官の指
導補助として、主に基本的な動作
の指導や訓練礼式の実技を行いま
した。

受講生の真剣な眼差しや熱心な
姿勢に、こちらも初心に戻り、基
本動作や活動内容を見つめ直す良
い機会となりました。

南高安分団 亀田 正之

大阪府地域防災演習

平成24年5月31日(木) 摂津市の一津屋防災公園(淀川右岸河川敷)において、大阪府・大阪市・近畿地方整備局主催の大阪府地域防災総合演習が実施されました。

本演習は異常気象による集中豪雨や台風の襲来による豪雨を想定して行うもので、消防・警察・陸上自衛隊・水防事務組合などの防災関係機関のほか各企業も参加し35機関が真剣に技術の修得に努めました。



八尾市消防団からは、志紀・大正分団の団員21名が参加し阪本南西方面隊長の指揮のもと「釜段工」を担当しました。

「釜段工」とは、平場に漏水が発生した際に漏水の噴出口を中心に土のうを積み、中に貯えた水と川の水压を均等に保つことにより被害の拡大を防ぐ工法のことです。我ら八尾市消防団の管轄内には、大和川等の河川を多く持つため、本番さながらの実戦訓練となり有意義な一日になりました。

万が一、災害が発生した場合には、今回の演習のような恵まれた環境ではなく作業の行いにくい状況となることから、普段からの訓練の必要性を改めて認識しました。

大正分団 木田 宗利

木村重成祭

平成24年6月5日(火) 幸町6丁目公園において、木村重成祭が開催されました。

木村長門守重成公は、文武共に優れた武士であり、大阪城夏の陣にて戦死された時は、大阪城中の女性が皆、悲しみに暮れ、涙したそうです。

前日の準備では、公園内の清掃を行い、幟や提灯などの飾り付けを消防団が一丸になり、みんな協力して会場設置を行いました。



今回初めて「彩華」という、地域の子ども達が昔からのだんじり祭りなどを保存しようとする団体も参加していただき、会場には子ども達や大人の方もたくさん集まっていたいただきました。



今年も、事故もなく無事に木村重成祭を終える事ができ、片付けが終わった帰り際に、先輩団員から「お疲れさん」と言ってもらえて嬉しかったです。

西郡分団 中川 翔太



消防団幹部視察研修

平成24年6月21日(木) 兵庫県三木市の兵庫耐震工学研究センターへ視察研修に行つてまいりました。

ここには、実際の地震と同じ複雑な揺れを作り出す15m×20mの震動台があり、その上に最大1200トンの構造物を載せ震動実験を行い、様々な構造物の破壊過程と新しい耐震技術を検証することができるといいます。

地震大国日本においては、非常に重要な施設だと感じました。

又、地震の恐ろしさを改めて思い知らされ、日常生活においても家具を固定する等の対策を講じる必要性を強く感じました。

視察後は、明石の鯛とタコの昼食をいただき、楽しく充実した一日を過ごしました。

曙川分団長 松田 悦治



厚生事業(ゴルフ)

平成24年6月16日(土)に恒例の八消会ゴルフコンペを行いました。

あいにくの天気でしたが、正副団長を始め、消防職員・消防団員OB、消防団員の皆様方が多数参加し、グランシエゴルフ倶楽部で優勝を目指してプレイしました。雨でコースには水溜りができ、水しぶきが上がったたり、ボールがめり込んだりといういろいろなことがありました。

プレイ終了後には、会食をしながら結果発表が行われました。

上位入賞者や、ドラコン・ニアピン・飛び賞等の受賞者に豪華景品が用意されていきました。

結果は次のとおりです。

優勝 大正分団 竹田 隆誠

準優勝 職員OB 吉岡 清

第3位 大正分団 平岡 元司

消防には水が付きものですね、雨にも負けず風にも負けず一生懸命プレイをしていただいたと思います。

山本分団長 村島 友忠



八尾河内音頭まつり警備

平成24年9月2日(日)恒例の第35回八尾河内音頭まつりが開催されました。

例年、市役所付近でパレードの沿道警備を行っていましたが、今年から開催場所が久宝寺緑地になったことで、メイン会場である陸上競技場の周辺警備というかたちになりました。

私たちは主に、競技場外側北西区域の警備を担当しましたが、心配していた自転車のマナーはそれほど悪くはなかったと思います。

当日は、途中激しい雨に見舞われたにもかかわらず、終日大勢の人で活気に溢れていました。

久宝寺分団長 横山 典久



分団紹介 志紀分団

今回、志紀分団の紹介をお伝えするのは、入団8年目の田井中分団所属の宮平誠二です。

志紀分団は、小西分団長を筆頭に弓削、老原、天王寺屋、田井中の4分隊、総勢52名で活動しています。

普段の活動は、毎月各分隊で集會を開き、火災が発生した際に問題なく活動できるように、装備品の点検やポンプの使用方法の確認をし、出動に備えています。

また、訓練や歳末特別警戒や出初式はもとより、各地域での「とんど」や祭事にも参加しています。

地域ぐるみでの避難・消火訓練を行うことがあります。今年2月に志紀地区で行われた防災訓練には、陸上自衛隊八尾駐屯地、八尾市消防本部、志紀分団員協力のもと、志紀地区住民の方が参加し、総勢約400人での大規模な訓練を実施しました。

簡単な担架の作り方、応急措置の方法、テントの中を無害の煙で充満させ、煙中での避難の難しさを体験、消火器での消火訓練などを行いました。



今回は、自衛隊からも災害時の専用器材の展示、陸上炊事車での非常食の炊き出しもあり、消防の訓練には何度も参加していましたが、自衛隊の専用器材や非常食など普段目に見えない物もみれる機会に恵まれ、内容的にも充実した防災訓練になりました。

数年か、十数年後に関西地方でも大規模な地震の発生率が高いと言われていますが、火災だけでなく非常事態にも自分達のやるべき事をできるように消防活動や訓練を努力していきたいと思えます。

志紀分団 宮平 誠二

聞き取り学習

平成24年7月2日(月)久宝寺小学校の四年生を対象に消防聞き取り学習が行われました。

当日は汗ばむような晴天の中、久宝寺分団と消防本部からは警防課消防団係の岸係長と村上主任が参加しました。

2時限目の授業は小学校の校庭で行われました。

横山分団長から消防団と消防本部の違いや体験談を、本部からは消防の歴史や火災の原因、火災の予防法などの話に児童たちは熱心に聞き入り、質疑応答もいつ終わるかと思うぐらい熱心でした。

3時限目の授業は、久宝寺分団の屯所で行われ、岡井副分団長より消防団の活動内容や屯所内の説明がありました。

後日、生徒からの感想文を受け取りました。

感想文には、消防団員が他の職を持ったおじさんたちのボランティアの集まりであることや、消防署と消防団の違いなどが書かれてあり、消防団の活動がすっかり理解されたことを実感しました。

子供たちの感想文を読んで、消

防団をやっている本当に良かったなあ、と思うとともに、これからも地域防災活動に頑張りたいです。

久宝寺分団 高田 卓



大阪府消防操法訓練大会に

向けて！

八尾市消防団 北西方面隊は、平成24年9月9日(日)大阪府立消防学校において行われる大阪府消防操法訓練大会のポンプ車操法の部に出場します。

北西方面隊は、4個分団で構成され、複数分団が混成でチームを編成することは、当市消防団では初めての試みです。

選手は、久宝寺分団2名・西郡分団1名・八尾分団1名・龍華分団1名で構成され、今回新しく導入されたポンプ車を使用します。

訓練は、5月から毎週火曜日と金曜日、消防本部の指導の下、大阪府中部広域防災拠点で、午後7時半から午後9時までの間で実施しています。

ポンプ車操法は、防火水槽を水源とし、手びろめにより二重巻きホースを2線延長、火点に見立てた60m先の標的を倒す操法です。

操法は、各隊員の

- ① 士気、規律
- ② 迅速な行動、操作、チームワーク

- ③ 確実な動作
- ④ 各隊員の安全



⑤ 消防用機械器具の精通とその愛護

を要点とし審査され、所要基準時間を第1線55秒、第2線65秒として競われます。

火の見櫓第30号が発刊される頃には大会は終わっています。7月の時点で第1線は65秒、第2線は78秒と、まだまだ頑張らなければならぬですが、私の見る限り、士気、規律、チームワークは他市の消防団には負けていないと思います。

がんばれ！北西方面隊！！
八尾分団 山地 睦真



◎ 広報部員名簿 ◎

委員長 澤田 吉行

副委員長 木田 宗利

委員 久宝寺分団 高田 卓
西郡分団 田口 裕晃
八尾分団 中川 翔太
龍華分団 山地 睦真
大正分団 鈴木 卓也
曙川分団 辻村 良弘
南高安分団 岡田 真一
高安分団 西山 孝文
山本分団 杉原 弘恭
志記分団 松岡 行宏
" 松浦 洋憲
" 山口 泰憲
" 松下 雄治
高安分団 錦織 栄夫
" 五枝 伸浩
山本分団 樋口 徳次
志記分団 井形 肇
" 宮平 誠二

— 編集後記 —

皆様のご協力のおかげで無事第30号発刊となりました。記事の提出から構成までスムーズに進み本当にありがとうございました。

澤田 吉行